

説教余滴 2019年7月28日 「御殿場の町」

7月24日、当礼拝堂で、阿部先生の講演がありました。YMCA 同盟の幹部研修会です。御殿場東山荘の幹部が引率でした。色々思い出させられました。

御殿場は、古名を御厨町・みくりや、源頼朝が富士の裾野の巻狩り(現代なら軍事大演習)を催した時、厨房(台所・烹炊所)を置いたことによるそうです。市南部には「竈・かまど」という地名も残っています。更に南へ下ると「駒門・こまかど」、ここは自衛隊の駐屯地・演習場。

1981年3月15日から1983年8月末日まで、街中の新築牧師館に住みました。

当地の名産品は、「水菜」、冬の水田で育て、ここの人たちは何処へ住むようになって、これを求めると聞きました。水菜漬でお茶漬け、これはうまい。癖になる味です。今は、乾燥させたインスタント茶漬があるようです。御殿場の東には山葵田があります。わさび漬けも有名です。

教会の近くに矢崎の工場がありました。決まった曜日にはマーケットが開かれ、近くの人も買い物に集まりました。とりわけ、沼津から相模湾の鮮魚が入る時は狙い目でした。

JR 御殿場駅を北口へ出ると正面が大きな富士山。東へ徒歩10分ほどで教会があります。青銅瓦で葺いた大きな屋根と、十字架の塔がありました。内部は、富士見町や洗足など、旧長老教会によく見られる舞台風の講壇。その上部にアーチ型を持ちます。講壇に立つと二階のガラス窓が見えます。クリスマスなど、人数が多い時はこの窓を開いて、畳敷きの大きな部屋に座ります。夏は、風を通すためこの窓と、さらに奥にある窓を開けます。講壇から富士山を仰ぎ見ることができます。よい眺めでした。教会から東へ行くと高校があり、その先が高根学園保育所。賀川豊彦が地元の要請を受け、地元住民が共働きできるように作りました。現在も雲柱社が経営に当たります。